

新入生オリエンテーション

4月7日（木）午後、翌日の入学式の練習も兼ねて、新入生が初登校しました。



元気に登校



教室前でクラス確認



生徒会執行部の先輩たちが迎えてくれます



教室で新しい仲間と 少々緊張気味



第1学年担任団

新任者です。よろしくお祈りします！

教諭	武者 博雄	村山市立葉山中学校より	
教諭	高橋雅紀子	神奈川県の中学校より	新規採用
教諭	本間 夏鈴		新規採用
教諭	松田 彩希		新規採用
初任研担当	豊島伊佐男		

お詫び

昨年度末に本校職員が検挙されるという不祥事を起こしてしまいました。生徒や保護者の皆様、地域の皆様にご心配とご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫びを申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。今後、このようなことが二度と起こらぬよう対策を講じるとともに、職員一同、心一つにして日々の授業や行事、生徒たちの学校生活の充実に全力で取り組む所存です。どうぞ、これからもご指導、ご鞭撻、ご協力を心よりお願い申し上げます。

楯中点描

◇4月7日、新任式、始業式が行われました。5名の教職員が赴任しました。どうぞよろしくお願いいたします！

◇今年度も、感染防止に配慮した形で入学式を行いました。新型コロナウイルスの猛威は衰えません。さらに気をつけて教育活動を行ってまいります。

○楯岡中学校、今年度も地域の皆様とともに頑張っていくつもりです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

文責：校長 笹原 聡

楯岡中通信

村山市立楯岡中学校
第1号
入学式特集号
令和4年5月13日（金）

入学おめでとう



第18回 入学式(4月8日) 103名の新入生 笹原 聡 校長の式辞より(抜粋)



103名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

「学ぶ 響く 琢く」楯岡中学校の校訓です。「学ぶ」とは、勉強はもちろん、多くの知識や技能、考え方を身につけ、真理を目指すこと。「響く」とは、学んだことをもとにしながら、それらをつなげたり、感性を働かせたり、仲間や社会と呼应したりすること。「琢く」とは、適切な生活習慣を身につけ、仲間のよさや自分のよさをより大きく引き出し、高みを目指すこと、と私はとらえています。ぜひ、この校訓を心に据え、夢に向かって、中学校生活を送ってください。

今現在、私たちは「コロナ禍」と言われる時を生きています。新型コロナウイルスはなかなか収まりません。でも、山も野も、雪解けの水のかたわらから、新しい芽を育てています。そして、私たちも、一度しかない今を生きています。新型コロナウイルス感染症には、十分に注意をし、気を抜かないで予防を行っていかなくてはなりません。同時に、私たちの学びも止めてはいけません。「できない理由を探すよりも、できる可能性を工夫しましょう」。前向きな気持ちこそが、自分を高める一歩なのです。

皆さんは、一人一人が綺麗な色を放つ光です。それぞれが違った良さを持つ光です。顔つきや考え方も違います。違っているから良いのです。そして、それは、大事にしなければならないことだと思うのです。なぜなら、誰にでも、その人にしかない良いところがたくさんあるからです。それぞれにしかない美しい色の光です。絵の具は、混ぜれば混ぜるほど暗い灰色のような濁った色になります。でも、光は、重なれば重なるほど澄んだ色になります。これからの中学校生活、もどかしさや悔しさ、苦しさもきっとあることでしょう。それでも、皆さんは、新しい環境、新しい生活の中で、色々な光を持つ多くの人とふれあい、違う色の光を認め、その光の良さを見つけ、そして、自分の光の色も成長させてください。仲間の光を大事にしながら、仲間とともに「学び 響き 琢き」、たくさんの挑戦をしていきましょう。

〈中略〉

さて、新入生のみなさん。みなさんは、小さな、でも、尊い光です。皆さんは、今、何色の光ですか？これから仲間と共に、色の光を重ね、ステージを照らします。どんな綺麗な色の光になるか、その光を創るのは皆さん一人一人です。そして、その光の中心に立つ主役も、あなたたち一人一人です。脚本もプロデューサーも監督も主演もあなたです。他人のまねではない、自分色の光あふれるステージを仲間と共にデザインしてください。

最後に、新入生103名を加えた343名の楯岡中が、今年度、さらに力強く前進できるよう、私ども教職員一同、心からの愛情を持って、全力で生徒全員と向き合うことを誓い、式辞といたします。

入学おめでとう

祝 村山市立楯岡中学校 入学式



茂庭教頭による開式の言葉

4月8日(金)
保護者の皆様が見守る中、新入生103名の入学式が厳かに行われました。
少し大きめの真新しい制服に包まれた新入生は、緊張した面持ちながらも凛とした様子でした。
さあ、新たなスタートです!



新入生 誓いの言葉 新入生代表 齊藤穂高さん

春が来ましたが、袖崎はまだ雪が残っています。しかし、雪の中からふきのとうが顔を出しました。思えば、僕たちは2年間コロナと戦った小学校生活でした。これから、いよいよ待ちに待った中学校生活が始まります。

僕は、がんばりたいことが2つあります。一つ目は「友達をたくさんつくること」です。僕は、友達になりたい人とコミュニケーションをたくさんとって、友達をつくるのがとても好きでした。僕の小学校は全校生が37人と少なく、コミュニケーションをとる回数もあまり多くありませんでした。中学校では新しい友達との出会いを大切にしていきたいと思います。

もう一つは勉強です。小学校の卒業が近づくにつれて学習内容が難しくなりました。このままだと中学生になって、ついていけなくなってしまうと思い、必死で勉強に取り組みました。そのおかげで、だんだんテストで満点をとれるようになり、自信がついてきました。中学校では自分の夢の実現に向けて、授業を大切に、家庭学習をがんばっていきます。これからあこがれの中学校生活が始まります。まだまだ僕には足りない部分がたくさんあります。その足りない部分を中学校で学んで、改善し、吸収していきたいです。2、3年生の皆さん、先生方、僕達1年生をよろしくをお願いします。



歓迎の言葉 (一部抜粋) 生徒会副会長 中桐友暉さん

楯岡中で力を入れていることがあります。それは、「あいさつ」です。皆さんはあいさつが大事だ、ということは分かっていると思います。それは中学校でも、その後の社会でも同じです。その理由として、笑顔になれること、人と人がつながることなどが挙げられます。僕は、11月からあいさつ活動を行っています。最初の方は、正直あいさつがあまり出来ませんでした。しかし、勇気を出して、あいさつをすることで、あいさつを返してくれる人も多くなり、僕自身、とても爽やかな気持ちになりました。ぜひ、みなさんも自分から爽やかなあいさつを交わし、人と人をつなげ、自分の世界を広げていきましょう。

中学校には、勉強、部活、生徒会活動、行事、ボランティアなど、自分の世界を広げる場所がたくさんあります。新入生の皆さん、これらの活動に積極的に取り組み、自分の世界を広げ、自分を琢いていきましょう。その上で夢や目標を見つけて、その夢や、目標を達成するためには、何が必要かを考え、中学校生活を送っていくと、とても充実した三年間になると思います。

皆さんは、今日から楯中生の一員です。楯中生としての誇りと責任をもって、これから、僕たちと一緒に、楯岡中をより良い学校にしましょう。103名のみなさんの一人一人の活躍を期待し、歓迎の言葉といたします。



新入生入場 入場時はマスクを付けずに



校歌斉唱 歌詞カードを見ながら



入学祝品贈呈 代表 大川尚澄さん



教科書給与 代表 高橋道真さん



新入生呼び上げ 大きな声で

